

## 令和6年度事業計画

### 1 事業目的

当事業団は、定款第3条に定める法人の目的に則り、埼玉県内における埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の啓発と普及を図り、もって本県文化の向上に寄与することを目指す。

本目的を達成するため、埼玉県の文化財行政と連携を図るとともに、公益目的事業として埼玉県内の埋蔵文化財の発掘調査とその成果の公開・活用に係る普及事業を実施する。

### 2 事業運営方針

公益目的事業の実施に当たり、主に国・埼玉県等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託し、法令を遵守した業務を遂行していく。

その上で、特に発掘調査現場において、調査中の事故が発生しないよう、徹底した安全管理を実施し、「事故ゼロ」を目指した作業を行う。

一方、デジタル技術の急速な発展により、大きく社会が転換している中で、当事業団が社会から求められている業務やその成果についても、改めて検討する必要性が生じている。

当事業団の事業は、埋蔵文化財の調査・研究及び埋蔵文化財保護思想の普及・啓発であるが、まずは、事業運営を行うに当たっての事務作業をデジタル技術の活用により、効率的に行う必要がある。

また、発掘調査業務のうち、整理・報告書の刊行事業において、デジタル技術活用の検討を進め、積極的にDX化の推進を図り、国民的財産である埋蔵文化財のより充実した保存・活用を目指す必要がある。

デジタル技術の活用に当たっては、職員を含め、様々なITリテラシーの利用者が当事業団の内外からICTを利活用することを考慮すると、「情報セキュリティの確保」、「情報インフラの整備」といった施策の取組も重要となる。

令和6年度においては、これらの取組を推進するための経費を捻出するため、経営改善目標を設け、将来のDX化に向けた環境整備を目指す。

あわせて、全ての職員が、前例にとらわれず、新たな視点を取り入れるとともに、経営感覚を持って業務の見直しを行うなど、経営改革に取り組む姿勢を醸成する取組を行っていく。

### 3 実施事業

#### (1) 発掘調査事業

No	事業者	遺跡名	所在地	予算額 (千円)	備考
1	国土交通省	船川	行田市	148,258	
2		宅地	行田市		
3		塚原南	東松山市	109,275	
4		平右衛門遺跡	鴻巣市	173,734	
5		宮前第3地点	鴻巣市		
6		宮前第4地点	鴻巣市		
7		金久保内出	上里町	348,051	
8		清水南	上里町		
9		丹生	上里町		
国土交通省計				<b>779,318</b>	
10	埼玉県	虫塚・新右衛門	鶴ヶ島市	21,006	
11		新右衛門	鶴ヶ島市	27,791	
埼玉県計				<b>48,797</b>	
12	東日本高速道路株式会社	八木上・沢口上	狭山市	83,097	
東日本高速道路株式会社計				<b>83,097</b>	
発掘調査事業計				<b>911,212</b>	

#### (2) 整理報告書作成事業

No	事業者	遺跡名	所在地	予算額 (千円)	備考
1	国土交通省	北尾崎北	羽生市	70,961	報告書刊行
2		道原	羽生市		
3		上新郷	羽生市		
4		宮前	鴻巣市	37,880	
国土交通省計				<b>108,841</b>	
5	埼玉県	塚原南	東松山市	35,882	報告書刊行
6		東本庄	本庄市	35,008	
7		小久住	飯能市	16,766	
8		小久住その2	飯能市	18,919	報告書刊行
埼玉県計				<b>106,575</b>	
整理報告書作成事業計				<b>215,416</b>	

#### (3) 資料保存活用事業

No	事業者	内容	予算額 (千円)	備考
1	埼玉県	(1) 資料整理 (2) 保存処理 (3) 情報収集 (4) 普及	46,552	
資料保存活用事業計			<b>46,552</b>	

全事業合計			<b>1,173,180</b>	
-------	--	--	------------------	--

#### 4 経営の改善に向けた目標

- (1) 組織改正などにより捻出した経費を基に、DX化を推進するための環境整備を行うための経費として、資産取得資金の積立（500万円程度）を行う。
- (2) 給与反映を目的とした人事評価制度を新たに導入し、適切な人事評価を行うことで、職員の意識改革及び組織全体として経営改革に取り組む姿勢の醸成を図る。
- (3) 業務の一部についてデジタル化を進めるため、試行的にペーパーレス支援ソフトウェアを導入し、ペーパーレス化を実施することで、管理費における消耗品費を令和4年度比3%削減する。